

設立趣旨書

特定非営利活動法人 音ノ輪

設立代表者 高橋 真之介

1 趣旨

- 全国的に、近隣住民や世代間のつながりが希薄になっている地域が増え、設立代表者の同世代の若者についても、生まれ育った地域に魅力を感じにくく、他の地域へ流出してしまう事例がみられています。
- EXP02025 大阪・関西万博が開催される等、大阪に人が集まりやすい機運が高まって、地域の観光資源の不足や知名度の低さによる経済的停滞が懸念されます。
- 全国的な教職員の働き方改革を背景とした、部活動の縮小等の影響も受け、地域の子どもたちが文化や芸術に触れる機会が少なくなっていることが懸念されます。
- 特定非営利活動法人音ノ輪は、「音」と人の「輪」を広げていくことを目指し、音楽を通じた地域の子どもたちの感受性や表現力を育む環境の整備、地域の文化振興による魅力創出、及び地域経済の発展を目的として設立するものです。
- このような活動を継続して行うに当たり、公正かつ透明性の高い運営を行い、社会的な信用を得て幅広く活動していく上で法人化が必要であると考えます。
- また、営利を目的とする活動ではなく、地域における幅広い活動者を確保するため、特定非営利活動法人の設立が望ましいと考えます。

2 申請に至るまでの経過

- 設立代表者は、音楽家（シンガーソングライター）として活動してきた中で、子どもへの将来の選択肢につながる体験の提供、文化振興等に関して、一人で活動することの波及効果に制限があることを感じ、地域のネットワークをいかした音楽に関するイベントやワークショップ等の取組みの必要性を認識しました。
- こうした活動を通じ、地域の魅力を高めることで地域に愛着をもってもらい、人と人とのつながりを充実させるため、法人を設立して継続的に取り組むことが柔軟かつ効果的に対応する最善策であると結論付け、申請に至りました。